

2024年7月12日

講演内容等の訂正とお詫び

関西教育 ICT 展事務局

下記の講演について、HP 上で、講演内容等が誤って公開されてしまっておりました。

[1-6] 7月26日(金)14:50-16:20

「GIGA スクール構想の実現に向けて教育委員会が直面する壁とその打破」

ここに、深くお詫び申し上げるとともに、正しい講演内容等をお知らせいたします。

○講演内容

誤:

小学校の新教科書では、プログラミングに関する記載内容が拡充しており、学習端末の自宅持ち帰り体制の浸透によって子供たちのプログラミング環境も整いつつあります。また、本年度から共通テストに新科目として「情報」が加わり、小学校段階からの指導の系統性も注目されています。

更に、生成 AI を利用したプログラミングを含め、新しい時代のプログラミング教育の方向性や指導のあり方について考えてみたいと思います。

↓

正:

日本全国すべての学校において GIGA スクール構想が成功するためには、国、教育委員会、学校が連携しつつ、それぞれの役割を十分に果たすことが求められる。

本セッションでは、文部科学省の立場、都道府県教育委員会および市区町村教育委員会の立場、自治体の教育 DX アドバイザーを務める有識者の立場から、GIGA スクールが直面している課題にどのように立ち向かっているのか、成功事例、挑戦事例を紹介しつつ、教育委員会のあり方の今後を展望する。

○コーディネーター 東原先生のプロフィール

東原 義訓 様(信州大学 名誉教授)

誤:

和歌山大学大学院修了後、県内公立学校教諭を経て、2002 年度より和歌山大学教育学部講師。2016 年より教職大学院教授となり現在に至る。

和歌山市教育委員会客員指導主事、和歌山県青少年インターネット環境整備推進会議会長等を務める。

「自分でできない授業は提案しない」をモットーに自ら出前授業を実施。開発した教材や新しい機器・アプリ等を用いた授業の実践的検証をおこなっている。

↓

正:

筑波大学大学院を修了後、筑波大学助手、信州大学助教授、教授を経て、2020 年より信州大学名誉教授。

2015 年度より継続的に文部科学省の ICT 活用教育アドバイザー派遣事業に携わり、現在は学校 DX 戦略アドバイザー事業企画調整委員会委員長を務める。

長野県教育委員会、長野県内の市町村をはじめ、全国の ICT 教育を支援している。

なお、展示会 HP 上では、既に修正を行い、上記の正しい講演内容を掲載しております。

以後、このような誤りがないよう、公開前の確認作業などを徹底いたしますので、ご理解くださいますよう、よろしく願いいたします。

お問い合わせ先: 関西教育 ICT 展事務局

Tel: 06-6944-9918